

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス イコラ土岐		
○保護者評価実施期間	7年 2月 1日	～	7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	7年 2月 1日	～	7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	異年齢を交えた小グループまたは集団を意識した活動プログラム。	SST、コグトレ、チームビルディング、粗大・微細運動などを中心になるべく固定化しないように活動プログラムを考え、毎日行っている。また、季節に応じたイベントを行ったり、時には外出体験も行っている。	様々な分野に目を向けながら療育活動に取り入れられそうなものを積極的に取り入れ、幅広く経験が出来るように取り組む。
2	児童の長期利用(何年も継続して通ってもらっている)	利用児童が、イコラを自分の居場所であると認識してもらう為、子どもの目線に立った考えを持ち、楽しく安心して通所出来るよう心がけている。また、遊びや活動において、導入・参加・結果をスモールステップで行うように心がけている。	利用児童の話に耳を傾けたり、アクションを受け止めながら次のコミュニケーションに繋がるようにし、楽しみながら成功体験が1つずつ重ねられるよう取り組む。
3	祝日の営業や、お預かり時間の長さ。	祝日の営業や、お預かり時間の長さ(平日17時30分・祝日長期休暇16時30分送迎開始)で、保護者様の仕事時間等を出来るだけ考慮しながら行っている。	時間指定の送迎は難しいが、極力お預かり時間を考えながら今後も行っていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	1人当たりに確保しなければならないスペースの基準は満たしているが、他事業所と比べやはり空間の狭さが目立つ。また、相談室等以外はワンルームである為、区切りをつけながら宿題や活動を行うのが難しい。	建物の構造上の問題。	スペースの有効活用を再度考える。現状では場所(建物)の変更等以外の方法では大きく改善する事は難しい。
2	保護者同士の繋がり場の提供。	営業日が月～金の為、平日に会合を設けるのが保護者様の都合に合いにくい事や、自事業所の室内スペースや駐車スペースが狭く、多人数での会合には適さない事などがあげられる為。	コロナ過で密集状態を避ける為にしばらく行っていなかったが、今後日程の調整や会議室等を借りるなどをして、保護者様への説明会や交流会の提案などを考えていきたい。
3	放課後児童クラブや地域児童、他放課後等デイサービスとの交流。	現在、近隣の放課後等デイサービス事業所とは公園などで時々交流を図っているが、放課後児童クラブなどは学校内での集まりの為交流が難しい。	今後も近隣の放課後等デイサービス事業所と交流を図り、近隣の児童館にも遊びに行くなど、計画を立てていきたい。